



# 嚶鳴同窓会報

第50号

編集発行所  
〒990-2492  
山形市鉄砲町一丁目15-64  
山形県立山形西高等学校  
嚶鳴同窓会  
連絡先 080-7893-1641



## 同窓会会員の力を結集し、 嚶鳴同窓会の組織をより強固に！

会長 小笠原 悦子（昭和50年卒）

嚶鳴同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から同窓会事業に対し、多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

嚶鳴同窓会会報はこの度50号を数えることができました。半世紀にわたって会報を発行できましたのも、広報委員の皆様はもとより、旧恩師や会員の皆様、西高の先生方などたくさんの方のご協力があったこそと、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年4月から同窓会の自主運営を進めてまいりましたが、パソコン等の事務機器や事務用品の購入、携帯電話やホームページ開設等の各種契約、資料の作成や通

知作業等、これまで学校側にお世話になるのが当たり前と思っていたすべてのことを、自らの手で行うのは、並大抵のことではありませんでした。

それでも、担当評議員や事務局長の頑張りで、令和5年11月には会則の改正、12月にはホームページの開設を行うことができました。また、令和5年度の総会では当番学年の若い皆様のご尽力により、インターネット配信を実施していただき、情報発信の充実を図ることができました。

令和6年度からは、県内外会員の皆様の出席による総会の実施等、コロナ禍以前に近い形での事業展開を行うべく予定です。まだまだ懸案事項が多く、将来の会員減少を見据えた会費の徴収方法や、

総会の内容並びに招待客の見直しなど、会の運営内容については今後引き続き検討していく必要があります。

これからも、評議員やクラス幹事の皆様のみならず、同窓会員の皆様すべての力を結集し、嚶鳴同窓会の組織をより強固なものにしてまいります。



## 嚶鳴精神と未来創造精神 令和の山形西高校を目指して

校長 佐藤 正寿

今年の4月に校長に着任いたしました佐藤正寿と申します。よろしくお願ひします。

嚶鳴同窓会の皆様には、母校の発展のために、日頃よりご高配を賜り深く感謝申し上げます。

昨年5月の新型コロナウイルス類移行に伴い、本校でも三大行事の合唱コンクール、校内総体、嚶鳴祭が復活しました。

コロナ前までは受け継がれてきた伝統が途絶えたところはありますが、生徒達は西高プライドを持ち経験ゼロでも各行事に立ち向かっています。

コロナ禍の間に高校教育で大きく変わったことがあります。それは国の法令の改正により、「スクール・ポリシー」

の策定が各高校に義務付けられたことです。本校でも令和4年度にスクール・ポリシーを策定しました。スクール・ポリシーとは、「育成を目指す資質・能力に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」の三つの方針で構成され、教育目標・教育方針のニューバージョンとも言えるものです。

本校の育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）では次のような力を示しました。

- 自ら気付き、考える力
- 郷土を愛する心
- リーダーシップ
- 思いやりの心

この協働して課題を解決する力、高い志、持続可能な社会を作る力、これまで本校が大切にしてきた力や心もありますが、新たに加えたものもあります。

新しい教育を推進するため、昨年度末に「未来創造精神」を加えました。これは、変化の激しい社会を生き抜き、持続可能で豊かな未来社会を創造する姿勢を表したものです。

伝統的な嚶鳴精神と並べて使っています。

昨年度は校内外での探究型学習の成果発表や台湾研修旅行の実施など、少しずつですが新しい山形西高校に向かって歩み始めました。

引き続き、母校の後輩達の様々なことへの挑戦とそれを支える教職員に温かいエールをいただければ幸いです。

### 令和6年度 総会のお知らせ

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●とき  
令和6年11月10日(日)  
13時30分～16時00分

●ところ  
パレスグランデール  
(山形市荒橋町1-17-40)

●参加費  
3,000円(当日集金)  
お茶とケーキ、お土産付

●内容  
アトラクション  
・動画  
「繋ぐ～世代を超えて～」  
・嚶鳴女声合唱団の演奏

●申し込み締切  
9月19日(木)

●申し込み方法  
嚶鳴同窓会ホームページ「出欠フォーム」、はがき、事務局メールでお申し込みください。

おうえいどうそうかい  
検索  
(二次元コード)

※後日、YouTubeによるオンライン配信を行う予定です。

スクール・ポリシーはこちらからお読みいただけます。





# 広がれ、嚶鳴の輪

## （ 令和5年度嚶鳴同窓会総会 ）

令和5年11月12日（日）パレスグランデールにて、嚶鳴同窓会総会を開催しました。片桐寛英山形西高校長、吉村美栄子山形県知事からのご挨拶を頂戴し（いずれも代読）、その後、令和4年度事業報告や令和5年度事業計画、事務局体制の変更に伴う会則変更等について議事を行いました。そして喜寿米寿を迎えられた先輩方のお名前を紹介し、お祝いの気持ちを表しました。その後は、「山形の食卓から世界へ」と題したトークショーを開催しました。山形の食のすばらしさを世界へ、そして次世代の子供たちへ伝えようと精力的に活動されている三ヶ山香織さん（H14年卒）、関郁美さん（H15年卒）、佐藤悠美さん（H19年卒）に登壇いただき、それぞれの活動やこれからの夢についてお話を聞きました。アトラクションの最後には三ヶ山さん、関さん、佐藤さんそれぞれから「ワイン」「ラ・フランス」「お蕎麦」をプレゼントしていただく抽選会を開催し、大いに盛り上がりました。最後に、3年ぶりに参加者全員で校歌斉唱を行い、閉会となりました。



今回も残念ながら参加者を山形県内在住の評議員、クラス幹事に限定し

ての開催となりましたので、大きなチャレンジとして同窓会総会のオンライン配信を行いました。現在も総会当日の動画を限定公開しておりますので、是非ご覧ください。更に今回は、会場外の通路に当番学年の活躍を紹介する展示ブースを設けました。アトラクションに出演した3名に加え、ひょうたんランプ作家をしている加藤あゆみさん（H14年卒）の作品や、刺繍作家の鈴木理恵さん（H15年卒）、お店を営んでいる方や創作活動を行っている方々を紹介するチラシ等を展示しました。二学年のメンバーで協力し

動画配信サイトはこちら  
↓↓↓  
**oumei-ol.com**  
  
オンライン専用サイト  
(oumei-ol.com)

あい楽しんで準備をできたことはとても貴重な時間となりました。至らない点も多々あったと思いますが、皆様のご理解ご協力のもと総会を開催できましたことに感謝申し上げます。  
（平成14年卒 菅野 綾）

# 東京支部総会を終えて

## （ 令和6年度東京支部総会 ）

6月9日（日）、ホテル椿山荘東京にて令和6年度嚶鳴同窓会東京支部総会が開催されました。当日は229名の参加者にお集まりいただきました。今年度は5年ぶりにご来賓の方々にお越しいただきました。来賓祝辞では、今年から山形西高の校長を務めていらっしゃる佐藤正寿先生より、現西高のスクール・ポリシーや、多様な活躍についてお話を聞きました。また招待恩師の伊藤和恵先生からは、国語教師そしてさまざまな部顧問としてご指導いただいた際のエピソードなど、ユーモアを交えて楽しくお話いただきました。

エンターテインメントは、現在、薬剤師・アロマ講師として活躍されている、平成6年卒の守宮まおさんより、「人生100年時代を『健全』に生き抜くための『香り』活用法」のテーマで講演いただきました。長く健全な状態を保つために嗅覚を維持することが大切であることを知るとともに、香りを使った体質診断「嗅覚反応分析」の体験では、好きな香りから自身の性格傾向や体質を知ることができ、大変興味深い内容でした。役員をはじめとする皆様方の温かいご支援ご協力により、終始和やかな雰囲気の中、令和6年度の東京支部総会を

終えることができました。担当学年一同、心から感謝いたします。  
（平成6年卒 岩田麻美子）



# 旧交を温めた久しぶりの総会

## 嚶鳴同窓会寒河江支部

第11回寒河江支部総会が令和5年7月15日、ホテルサンチェリーで開催されました。前回の総会から4年ぶりの開催となり、初参加の5名の方を含めて33名の皆様にお集まりました。前支部長で寒河江市福祉協議会会長として活躍なさっていた小野クナ子さんに「地域福祉にかかわりませんか」というテ

マで講演いただきました。介護や災害時の対応など、私たちの暮らしに役立つ具体的な福祉活動について、今後とも参考になる良いお話を伺いました。マリンバ奏者の神原瑤子さんをお迎えしたアトラクションでは、キーキとコーヒール楽しみながら、「夏の思い出」など美しく響く名曲の数々に

心が洗われました。総会終了後も会場のあちこちで談笑の輪が広がり、充実した会となりました。当日のアンケート結果でも内容について皆様に喜んでいただけたようで、担当役員一同、感謝しているところです。  
（昭和44年卒 田中ふみ子）



# 嚶鳴同窓会 ホームページ が開設されました！

パソコンやスマホで  
ぜひご覧ください

おうめいどうそうかい 検索   
 二次元コード

校舎上部のレリーフ（創立80周年記念に同窓会より寄贈）とアカシアの花をメインイメージに、同窓会の様々な活動をお知らせしています。  
会報やアカシアだよりには現在の西高生の姿も紹介。「お知らせ」には部活動の発表会や同窓生の催し紹介も予定しています。ぜひ事務局まで情報をお寄せください。

新事務局の連絡先や維持会費の納入方法をお知らせしています。

同窓会の会議や総会などの出欠を連絡できます。

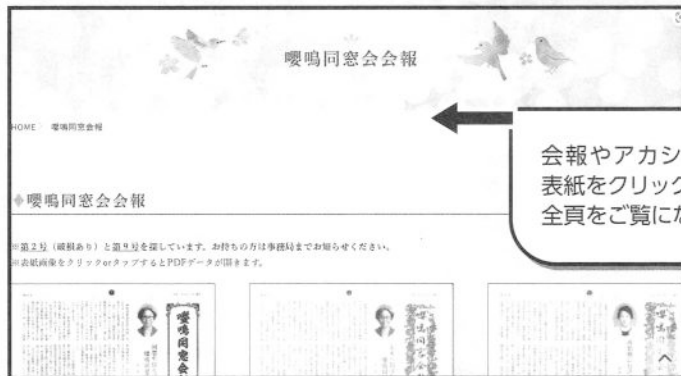
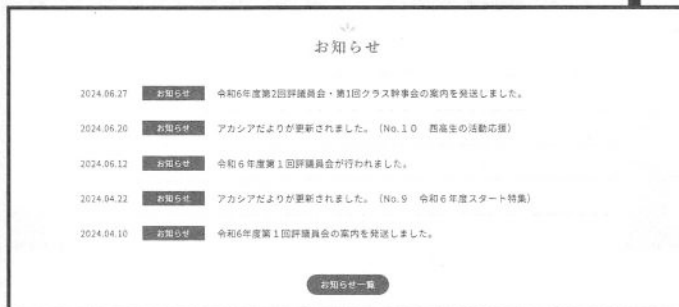
同窓会関係の問い合わせにメールでお答えします。



同窓会の沿革や嚶鳴の歩みも詳しく

第1回は嚶鳴女声合唱団、ヤング嚶鳴ソフトボールクラブを紹介

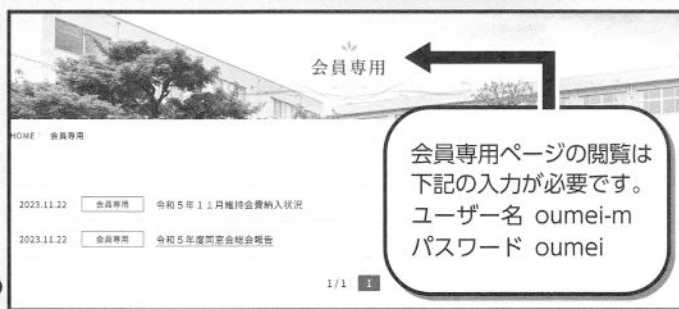
お知らせは随時更新中！



会報やアカシアだよりは、表紙をクリックすると全号、全頁をご覧になれます。



西高・東京支部・嚶鳴女声合唱団のホームページにリンク



会員専用ページの閲覧は下記の入力が必要です。  
ユーザー名 oumei-m  
パスワード oumei

桜桃が紅く色づく六月、東根市温泉町に大場玲子先生をお訪ねしました。共に高校教諭でいらした旦那様とお二人に迎えていただき、ひ孫さん方のかわいらしい写真に囲まれてお話を伺いました。

Q. 高校の国語の教師を目ざされたきっかけは？

A. 「大学を卒業したら家族を養うために働こうと考えたので、東北大学を卒業後、山形に戻って高校教諭の道を選んだのは自然な流れでした。」

新採の1960年（昭和35年）は、日米安保闘争の最中。勤務先でも教職員の半数以上がデモ行進に参加する時代だったそうです。

Q. 西高在職の11年間はどんな思い出がありますか？

A. 「学年主任の須藤康一先生や渡部昭二先生のお人柄や温かな包容力が、学年全体に影響を及ぼして、明らかで伸びやかな雰囲気でした。国語科の大宮文字先生、武田誠先生たち大正生まれの先輩の方々には、本当に多くの薫陶を受けて、今も感謝しています。」

西高では現代国語を担当。西高時代もその後も、居眠りしている生徒を叱ったことは一度もなかった、と先生。何でも一生懸命にやっって疲れて

いるのだし、それで授業をストップする必要はない、と考えたかったそうです。

西高に通勤し始めた頃は、13号線バイパスの完成前。朝早くに東根のご自宅を出るために、先生が朝ご飯を支度、後から出勤する旦那様が二人の娘さんに食べさせて出ると

### 恩師を訪ねて

「源氏物語」とともにー  
お訪ね先  
大場 玲子先生  
昭和50年4月、昭和61年3月在職



いう二人三脚で、子育てと仕事に邁進していらしたとのこと。ご長女の淑子さんとは一緒に西高に通った3年間も。

Q. 部活動顧問の思い出は？

A. 「文芸部が長かったけれど、生徒が自分達でのびのびと活動していたので私は何もしていません。」とおつ

しやる先生ですが、見せていただいた何冊もの文芸部誌「山菜葉」の一冊一冊に、それぞれの思い出がおりたようでした。

その後、大宮先生の後を引き継いだ茶道部では、全国総合文化祭が始まり文化部の活動が活性化された時で、外部講師の熱心な指導や合宿など、楽しく充実した活動だったそうです。

Q. ご退職後はいかがお過ごしですか？

A. 「1998年（平成10年）に定年退職。その頃、20世紀も最後になってやっとな性が60歳まで勤められるようになったのです。それまでは、ある程度の年になると毎年退職勧奨を受け、辞めざるを得ないような状況がありました。先輩方の長年の努力の賜物で、定年まで勤めることができました。退職から二年後、河北町の婦人文化教室で「源氏物語を読む」講座の講師を引き受けることになり、今年の三月の「夢の浮橋」まで24年間務めることに。」

ご自分で教材を作り、紫式部の表現や言葉に表れた登場人物像、「女の生きがたさ」といったテーマにふれながら源氏物語を読み進めてこられたそうです。

お若いときから「紫式部日記」「源氏物語」を読み込ん

でこられたという先生の講座の一端をお聞きし、今話題の大河ドラマの今後の展開がいつそう楽しみになった私達です。

今年86歳になられるという先生は、見せていただいたアルバムの中のお姿と重なる、すつと伸びた背筋と張りのあるお声。お話に引き込まれ、時を忘れて過ごしたひとときでした。

同窓生や西高生へ  
メッセージをお願いします。

しばらくお考えになった後に一言、「羽ばたいていけ！ということかしら。」と、力強く背中を押してくださいました。

（訪問者）  
昭和56年卒 神保 由美、  
昭和57年卒 富樫由美子



先生のアルバムより 合唱コンクール後の教室にて

## 並木道

日常に小さな喜びを

平成12年卒 石澤 加奈子

先日、ハンドメイド雑貨店「shop&gallery ツギハギヤ」をオープンしました。

もともとモノづくりが好きで、以前はワークショップやイベントを企画する仕事に就いていたこと、また長年活動している音楽活動の拠点を築き店舗を活用できるとなり、1年以上かけて店内をDIYで改装し、オープンの準備を整えました。

お店のコンセプトは「日常に小さな喜びを」です。忙しい日々の中で、ふとした瞬間に心が温かくなるようなアイテムや、心ときめくような体験を提供したいと考えています。自身が作ったハンドメイドの作品を販売するほか、県内のアーティストや作家さんの作品も取り扱うことで、地元コミュニティとのつながりを大切にしています。

前々から小さい子供を連れていけるようなお店があればいいなと感じていたため、キッズスペースも充実させました。今後は音楽会などを通して、子供から大人までが集えるような場所になればと構想を膨らませております。

お店の場所は山辺町のJR羽前山辺駅前です。お近くにお越しの際はお立ち寄りいただけましたら幸いです。





# いつまでも輝いて…

## 朗読の魅力

昭和37年卒 志田 恭子

こんにちは！私は80歳。宮城県の亘理町に住んで24年になります。亘理町は「はらこ飯」や「ホッキ飯」「いちご」が有名です。どうぞお出かけください。

私は現在、朗読を勉強しています。亘理町や仙台市で公演活動を行っています。東京での講習会に参加して、新しい発見を楽しんでいます。

朗読の世界に入ってから三十数年。これまでどれ程の本とご縁を持ったことでしょうか。西高在学中には考えられなかったことです。学生時代は全く勉強に興味がなく、先生にとっては扱いにくい生徒ではなかったかと、深く反省しております。

私には、気功・書道・水泳・コーラス等いろいろな趣味があります。ですが、結局、好きでたまらないのは朗読です。

朗読をする上で大切なことは、作品を深く理解して、登場人物を生き生きと表現し、観客に届けるということです。

このためには、深く細かい人物の観察と、その人物の心理に奥深く入り理解して、自分の中で育てていくことが必要です。

思って演じていることが、これはたやすいことではなく、苦しい作業でもあります。

朗読という趣味を長続きさせる秘訣は、先ず、健康であることが不可欠です。睡眠・食生活・運動と



いつた生活習慣を見直すことが大切です。舞台上で30分以上も立って朗読することもあり、本当に体力を必要とします。

朗読のプラス面は、アンチエイジングにつながります。本を声に出して読むことにより、滑舌の改善になります。

脳への刺激は言うまでもありません。勉強会への参加による仲間とのコミュニケーションは、認知症の予防にもなると言われている。皆さんもこの機会に、朗読のドアをノックしてみませんか。

この度、伝統ある嚶鳴同窓会の会報に寄稿するというサプライズが起きたのは、ひとえに朗読のおかげです。西高生時代に勉強する気になった私が、朗読に出会い、一筋に精進するようになり、ワクワクした生活を過ごしています。

欲張りな私は、最近も一つのワクワクするものを見つけた。それは、「二からピアノに挑戦する」ことです。

# 同窓生からのお便り

会報編集室では、皆様からのお便りを募集していますが、東京支部の備瀬富美子様からご寄稿いただきましたので、ご紹介いたします。

## 「赤いセーターの思い出」

昭和39年卒 備瀬富美子(小松)

高校時代、私には忘れられない思い出があります。同級生が赤いセーターを着てきたのです。高校2年の11月頃、その日は寒い日で、月曜日の朝礼の日だったので、生徒全員が講堂に集まっていた。

同級生の一人が制服の中に、真つ赤なセーターを着ていたのです。私はびっくりして、

どうなるのだろうかと思いがどキドキしました。講堂の中も、ちよつとざわついてるように感じました。制服はセーラー服なので、首元裾、手首から赤い色が見えるのです。私達は、制服の中には目立たないように紺色のVネックのセーターなどを着ていました。

同窓会総会で賀寿のご招待が叶わなかった令和3年に頂戴したお手紙です。東京のご出身だからその疎開体験、戦後の混乱期に深められた絆の強さを教えていただけの貴重なお手紙でしたので、ご紹介したく掲載いたしました。

昭和27年卒 日色 静子(齋藤)

この度は、米寿のお祝いとして記念誌をお送りくださり有難うございました。実は私は卒業しておらず恐縮しております。

私達の学年は戦争に翻弄された学年でした。中野区の小学校に入学しましたが、卒業は国民学校でした。その間福島県植田町に学童疎開をし、校庭に集合し駅までは皆リュックを背に遠足気分で行かれました。夜になるとアチコチからすすり泣きが聞こえてきました。冬は自分の下着は自分で洗うようにと。井戸水でなかなか泡立たない石鹸での洗濯は、小学生には大変な作

業でした。手紙は開封のまま渡して切手を貼り投函してもらうことになっていましたので、中を検閲され、お腹がすいた、寒い、家に帰りたいなどと書くと、寮母さんに「戦地では兵隊さんがお国のために闘っているのに銃後を守る児童が弱音を吐いて」とお説教でした。

朝礼の最後に、校長先生のお話がありました。「私はあなた達を叱ったりしません。あなた達は優秀な人達だから自分で考えたらわかるはずです。」とおっしゃいました。この高校に入って良かったと思えました。もちろん、その後、その生徒が赤いセーターを着てくることはありませんでした。山形西高校を卒業して60年経ちました。78歳です。今は、副業と町内会の仕事と子ども食堂で宿題のお手伝いをしています。5年前に仕事を辞めました。23年ぶりに風邪をひいてしまい、これではいけないと、65歳以上の都民を対象とする東京セカンドキャリア塾に入りました。そんな時、以前の職場(教科書出版社)

のOB会から原稿を頼まれ、4回執筆しました。この時に、赤いセーターの思い出が浮かび、筆を執りました。私にとって、山形西高での3年間は幸せでした。先生方には感謝しかありません。

二月二十五日には自宅が空襲で全焼してしまいました。八月十五日には玉音放送を体育館で聞きましたが、意味が分からず、先輩や先生方が泣いている姿が今も脳裏に残っています。その後併設中学、西高、南高、西高と変わり、戦後の混乱期とは云え、目まぐるしい変化でした。

高二の三月に東京の都立高に編入試験を受け、山形から東京に移住しました。その後、「山形二七の会」の方から連絡を頂き旅行などに参加をしておりました。喜寿を境に全体で集まることはなくなり、山形市のホテルや天童温泉へ行ったりしました。それもコロナ禍のため中断したままになっております。

自分のことになりませんが、PTA活動を皮切りに、葛飾区の代表として都の女性海外視察団の一員として都の職員





**「好き」を信じる**

東北大会出場。それは、私が演劇部に加わった時から、いや、代々の先輩方の時から目標としてきた場所でした。しかし、実際にその目標を達成したのは過去2回でしかも12年前のこと。仲間と粉砕身しながらも、私はどこか東北大会を夢物語のように考えていました。

自分たちの「好き」を詰め込もう、と意気込んで決めた台本で始めた稽古。「好き」を大切にしようとするあまり、時にはぶつかり合ったり、大

切な仲間できえ信じることができなくなったりしたこともありましたが、「好き」なことと大会で求められることを両立することはとても難しいことでした。誰かの「好き」を優先するたびに、誰かの「好き」を犠牲にしてしまう気がして、悩みの絶えない日々でした。それでも、限りのない演劇という芸術に対して真摯に、そして我武者羅に向き合い、私たちがらしい答えを導き出しました。私たちの「好き」が認められた瞬間は形容しがたいほど嬉しいものでした。もうこのメンバーで舞台に立つことは叶いませぬが、この何にも代え難い素晴らしい経験を胸に刻んで、それぞれがそれぞれの「好き」を信じていこうと思います。

(演劇部 3年 庄司 美月)

**インターハイ出場を前に**

私はやり投げで東北高等学校陸上競技大会で入賞し、インターハイの切符を掴み取ることができました。1年次の東北高等学校陸上競技大会でインターハイを逃し、悔しい思いをしてきました。その悔しさをバネに、日々の練習に励んできました。部活動の時間だけでなく、家でもその日の練習を振り返ったり、ケアをしたりして陸上競技に多くの時間を費やしました。私が改善すべき課題はたくさんありますが、理想の一投を実現するために一つずつ丁寧に改善し続けています。陸上競技を通じて成長し続け、自分の限界を超えるために努力を惜しまない姿勢で頑張ります。インターハイでは、これまでの成果を十分に発揮し、上位入賞することを目標にしています。技術の精度をさらに高め、大舞台で挑戦できることを楽しみながら試合をしてきます。

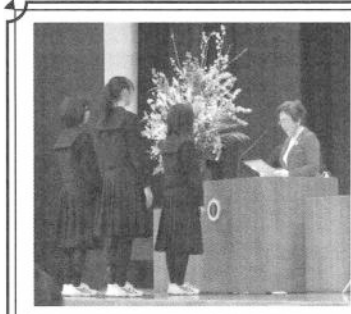
(陸上競技部 3年 鈴木ひより)

# 在校生の活動



善し続けています。陸上競技を通じて成長し続け、自分の限界を超えるために努力を惜しまない姿勢で頑張ります。インターハイでは、これまでの成果を十分に発揮し、上位入賞することを目標にしています。技術の精度をさらに高め、大舞台で挑戦できることを楽しみながら試合をしてきます。

(陸上競技部 3年 鈴木ひより)



**同窓会表彰式**

令和5年度から嚶鳴後援会表彰が新設され、同窓会表彰と一緒に卒業式前日に表彰式が行われるようになりました。

**嚶鳴同窓会長賞**  
**【学業成績・人物】**  
 鈴木 心碧 (登山部・校友会)  
 中家 由貴 (登山部・校友会)  
 遠藤 玲佳 (弓道部)

**特別活動賞**  
**【全国大会3位相当入賞】**  
 該当者なし



**同窓会入会式**

令和6年2月29日卒業式前日に、本校体育館にて令和5年度卒業生の同窓会入会式が開催されました。校長・事務部長・教頭・3年次担任団を来賓としてお迎えし、小笠原会長・鈴木副会長・齊藤副会長・伊藤事務局長4名で執り行いました。入会記念の嚶鳴バッヂを贈呈し、187名の新たな門出をお祝いしました。

新入会員の澆測とした姿にこれからの同窓会の発展が期待される入会式となりました。



- 在校生の活躍**
- 令和5年度 (前号未掲載分)
    - (全国高等学校文芸コンクール最優秀賞・文部科学大臣賞) 小説部門 石山 楓
    - (全国高等学校総合文化祭鹿兒島大会)
      - 弁論部門 渡辺 仁胡
      - 放送部門 アナウンス部門 出場 峯田あかね、後藤 桜智
      - 朗読部門 出場 齋藤 愛華
      - 新聞部門 参加 仲島 彩乃、田代香穂里
    - (全国高等学校総合体育大会)
      - 登山部 団体 8位
      - 新体操部 個人ボール・総合出場 高橋 花音
      - なぎなた部 団体試合 出場
      - 演技競技 出場
    - (全国高校選抜大会)
      - なぎなた部 団体試合 出場
      - 個人試合 出場 石澤 悠妃
    - (その他の全国大会)
      - 音楽部 第17回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 優良賞
      - 美術・イラスト部 ニテアートグランプリ2023 イラスト部門グランプリ 村田 美織
      - 書道部 第60回全日本書初め大展覧会 日本武道館賞 鈴木菜奈葉、佐藤 澪、白岩 花菜
      - 放送部 第70回NHK全国高等学校放送コンテスト アナウンス部門 出場 峯田あかね、後藤 桜智
      - 朗読部門 出場 浅野日真緒

- ・放課後実験倶楽部 日本動物学会 高校生ポスター賞
- (東北高校新人大会・選抜大会)
  - ・陸上競技 やり投げ 3位・砲丸投 12位 鈴木ひより
  - 5000m競歩 3位 鎌田 帆香
  - ・水泳 400m自由形 7位・200m自由形 9位 池田 樹里
  - ・なぎなた部 団体試合 出場
  - 演技競技 出場 浦安 美紅・卯月 藍花
  - 奥山 陽菜・櫻井 美音
  - 石澤 悠妃・菅 春名
  - ・演劇部 個人 出場 山崎 心春
  - 東北地区高等学校演劇発表会 優良賞
  - ・音楽部 NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 銀賞
  - 全日本合唱コンクール東北支部大会 銀賞
  - ・放送部 東北高等学校放送コンテスト若手大会 アナウンス部門 奨励賞 後藤 桜智
  - 出場 安達 歩美
  - 朗読部門 奨励賞 志田 はな
- 令和6年度 (6月中旬まで) (東北大会)
  - ・ソフトテニス部 ベスト16 西山 心海・山崎 裕生
  - ・陸上競技部 やり投げ 2位 (インターハイ出場決定) 鈴木ひより
  - 5000m競歩 7位 鎌田 帆香
  - 400mH 準決勝進出 高橋 七海

- (山形県高等学校総合体育大会)
  - ・なぎなた部 団体試合 優勝 (東北大会・インターハイ出場決定)
  - 演技競技 2位 浦安 美紅・卯月 藍花
  - 演技競技 3位 石澤 悠妃・菅 春名
  - (東北大会・インターハイ出場決定)
  - ・陸上競技部 やり投げ 優勝 (東北大会出場決定) 鈴木ひより
  - 5000m競歩 優勝 鎌田 帆香 (東北大会出場決定)
  - 砲丸投 4位 鈴木ひより (東北大会出場決定)
  - 400mH 5位 高橋 七海 (東北大会出場決定)
  - ・ソフトテニス部 個人 ベスト8 西山 心海・山崎 裕生 (東北大会出場決定)
  - ・新体操部 2位 (東北大会出場決定)
  - ・フェンシング 女子フルール 3位 長岡 陽奈 (東北大会出場決定)
- (山形県ジュニアボウリング競技大会)
  - 高校の部 2位 平田 璃子 (全国大会出場決定)
  - ・放送部 (山形県高校放送コンテスト) アナウンス部門 1位 後藤 桜智
  - 朗読部門 4位 志田 はな
  - ラジオドキュメント部門 4位
  - (以上3部門NHK杯全国高校放送コンテスト出場決定)

### 令和5年度 主行事・会務報告

#### <令和5年度事業報告>

##### 令和5年

- 4月21日(金) 令和4年度会計監査
- 5月11日(木) 第1回評議員会
- 6月4日(日) 東京支部総会  
(ホテル椿山荘東京：来賓無し)
- 6月21日(水) 創立記念式典・校内合唱コンクール  
(やまぎん県民ホール)
- 8月8日(火) 第2回評議員会・クラス幹事会
- 11月12日(日) 同窓会総会(パレスグランデール)

##### 令和6年

- 2月29日(木) 同窓会入会式・表彰式
- 3月1日(金) 卒業式

#### <各種委員会会務報告>

- 組織検討委員会 同窓会会則の改正
- 維持会費管理委員会 アンケート集約・会費納入窓口の補助
- 広報委員会 会報発行
- 後援活動委員会 学校行事への参加
- ホームページ準備委員会 ホームページ開設

囀鳴同窓会会員活動後援事業(ヤング囀鳴ソフトボールクラブ)  
囀鳴同窓会会員活動への花束等提供(3回)

### 令和5年度 維持会費納入状況 (令和5年4月1日~令和6年3月31日:納入者氏名省略)

#### ○令和5年度分 [5,000円]

- 昭和40年1、4、5組
- 昭和41年1~6組
- 昭和42年1~4、6組
- 昭和43年1~6組
- 昭和44年1~6組
- 昭和45年1~6組
- 昭和46年1~6組
- 昭和47年1~6組
- 昭和48年1~6組
- 昭和49年1~5組
- 昭和50年1~3、6組
- 昭和51年1~6組
- 昭和52年1~6組
- 昭和53年1~6組
- 昭和54年1~6組
- 昭和55年1~6組
- 昭和56年1~6組
- 昭和57年1~6組
- 昭和58年1~6組
- 昭和59年1~6組
- 昭和60年1~6組
- 昭和61年7組
- 昭和62年1~7組
- 昭和63年1~7組

- 平成元年1~7組
- 平成2年1~7組
- 平成4年1~7組
- 平成5年1~7組
- 平成6年7組
- 平成8年1~7組
- 平成9年1~7組
- 平成10年1~7組
- 平成11年1~7組
- 平成12年1~7組
- 平成13年1~7組
- 平成14年1~7組
- 平成15年1~7組

#### ○令和4年度分 [5,000円]

- 昭和40年1組
- 昭和42年3組
- 昭和44年1~5組
- 昭和49年2、5組
- 昭和50年2、3組
- 昭和51年1~6組
- 昭和59年2、3、5組
- 昭和61年7組
- 昭和62年1~7組
- 平成6年7組

- 平成9年1~7組
- 平成11年1~7組
- 平成14年1~7組

#### ○令和3年度分 [5,000円]

- 昭和40年1、5組
- 昭和59年5組
- 昭和61年7組

#### ○令和2年度分 [5,000円]

- 昭和40年1組
- 昭和59年5組
- 昭和61年7組

#### ○平成31年度分 [3,000円]

- 昭和59年5組
- 昭和61年7組

以上  
【@3,000×2クラス、  
@5,000×288クラス】  
【合計 1,446,000円】

### ご冥福をお祈り申し上げます

- 豊島 圭吾  
(旧職員)
- 安食 和彦  
(元校長)
- 栗原(高岡)美美子  
(S26 四高)
- 峰田(結城)陽子  
(S30 西高)
- 高野(大内)洋子  
(S25 四高)
- 山内(佐藤)久子  
(S20 高女4)
- 太田 靖子  
(S38 西高)
- 栗原 倫子  
(H3 西高)
- 鈴木(武田)美沙子  
(S33 西高)
- 木村(板垣)和子  
(S29 南高)
- 白畑(皆川)京子  
(S22 高女)
- 田子(大沼)シズコ  
(S20 高女5)
- 篠原(薬科)のぶ子  
(S18 高女)
- 大川(神保)尚子  
(S35 西高)
- 栗城(黒田)啓子  
(S18 高女)
- 鯉川(石川)京子  
(S30 西高)
- 木下(望月)翠  
(S19 高女)
- 渡辺(石山)敏子  
(S40 西高)
- 古見(斎藤)孝子  
(S49 西高)
- 佐藤(黒田)祥子  
(S56 西高)
- 佐藤(江利)子  
(S57 西高)
- 加藤(梅津)静子  
(S34 西高)
- 阿部(和久井)とし  
(S21 高女)
- 大竹 くるみ  
(R2 西高)
- 小松(尾形)富美子  
(S43 西高)
- 石山(細倉)ゆき  
(S43 西高)
- 門脇(木村)政子  
(S43 西高)
- 青木(青木)和子  
(S23 高女)
- 尾本(中野)英子  
(S42 西高)
- 高橋(齋藤)京子  
(S47 西高)

### 編集後記

記念すべき会報50号、いかがでしたか?今年から広報委員会に参加させていただくことになりましたが、初めての編集会議は、緊張している暇などない程スピーディーに、そして和やかに進みました。短時間で効率よく協力する姿に囀鳴精神を感じた時間でした。最後にになりましたが、会報作成にあたりご協力いただきました皆様へ心より感謝申し上げます。  
(平成14年卒 菅野 綾)



広報委員

- 広報委員(評議員)
- 佐逸 瀧 鈴 富田
  - 野見 本 木 檜 中
  - 亜千 悠 千 由 裕
  - 紗 紗 千 美 子 子
  - 美 尋 子 尋
  - 菅石井 武 神
  - 野澤 上 田 保
  - 加尚 靖 由
  - 奈 奈 里 子 美

問合せ先 080-7893-1641  
(ショートメールにてご連絡ください)  
メール: oumei.dousoukai24@gmail.com

事務局長: 伊藤和恵 (昭和59年卒/旧職員)

木曜日14時~16時は学校囀鳴会館事務室1Fで維持会費納入等に対応いたします。

#### 同窓会事務局のご案内

同窓会に関する情報(計報・変更・問い合わせなど)は、学校事務室・職員室ではなく、左までお知らせください。



### 同窓会報へのお便りを お待ちしております

宛先/〒990-2492  
山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内  
囀鳴同窓会 会報編集室  
「同窓生からのお便り」係

お願い/卒業年、住所、電話番号をご記入の上お送りください。

問合せ/080-7893-1641  
\*学校の電話ではなくなりました。  
メール/oumei.dousoukai24@gmail.com



## 令和5年度 嚶鳴同窓会会計決算書

### 【一般会計】

#### 1 収入の部

(単位：円)

項目	5年度予算額(A)	5年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 繰越金	7,232,600	7,232,600	0	R4年度残金
2 維持会費	1,000,000	1,446,000	446,000	5,000円×288クラス 3,000円×2クラス
3 入会費	945,000	935,000	△ 10,000	5,000円×187人
4 会 費	945,000	935,000	△ 10,000	5,000円×187人
5 雑収入	200	3,136	2,936	利息他
計	10,122,800	10,551,736	428,936	

#### 2 支出の部

(単位：円)

項目	5年度予算額(A)	5年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 総会費	1,300,000	1,040,317	△ 259,683	
2 支部補助費	300,000	180,000	△ 120,000	支部補助
3 会議費	100,000	51,199	△ 48,801	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	100,000	127,000	27,000	活動助成金・全国大会激励金他
5 表彰・記念品費	100,000	639,960	539,960	生徒表彰・賀寿記念品
6 広告宣伝費	300,000	258,500	△ 41,500	ホームページ制作・広告料
7 慶弔費	100,000	8,624	△ 91,376	弔電代・祝電代
8 印刷発行費	300,000	239,930	△ 60,070	会報印刷代
9 事務費	1,000,000	638,374	△ 361,626	事務用品・人件費・印刷・光熱費
10 通信運搬費	200,000	182,096	△ 17,904	インターネット利用料・郵送料・宅急便
11 旅費交通費	100,000	80,000	△ 20,000	交通費
12 支払手数料	10,000	2,750	△ 7,250	振込手数料・各種手数料
13 諸 費	10,000	17,560	7,560	卒業アルバム
14 予備費	6,202,800	0	△ 6,202,800	
計	10,122,800	3,466,310	△ 6,656,490	

総収入額 10,551,736円 - 総支出額 3,466,310円 = 残金総額（繰越金）7,085,426円

### 特別会計

(単位：円)

	期首残高	期末残高	増減
嚶鳴同窓会基本金	4,354,815	4,354,892	77 *
嚶鳴同窓会名簿会計	2,046,864	2,046,882	18
嚶鳴同窓会記念事業費	7,721,304	7,731,370	10,066

## 令和6年度 嚶鳴同窓会会計予算書（案）

### 【一般会計】

#### 1 収入の部

(単位：円)

項目	6年度予算額(A)	5年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 繰越金	7,085,426	7,232,600	△ 147,174	R5年度残金
2 維持会費	1,100,000	1,000,000	100,000	5,000円×220クラス
3 入会費	950,000	945,000	5,000	5,000円×190人
4 会 費	950,000	945,000	5,000	5,000円×190人
5 雑収入	74	200	△ 126	利息他
計	10,085,500	10,122,800	△ 37,300	

#### 2 支出の部

(単位：円)

項目	6年度予算額(A)	5年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 総会費	2,000,000	1,300,000	700,000	
2 支部補助費	300,000	300,000	0	支部補助
3 会議費	60,000	100,000	△ 40,000	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	130,000	100,000	30,000	活動助成金・全国大会激励金他
5 表彰・記念品費	600,000	100,000	500,000	生徒表彰・10年勤続表彰
6 広告宣伝費	300,000	300,000	0	ホームページ制作・チラシ印刷・広告料
7 慶弔費	50,000	100,000	△ 50,000	弔電代・祝電代
8 印刷発行費	300,000	300,000	0	会報印刷代
9 事務費	650,000	1,000,000	△ 350,000	事務用品・人件費・封筒印刷・光熱費
10 通信運搬費	200,000	200,000	0	インターネット利用料・郵送料・宅急便
11 旅費交通費	150,000	100,000	50,000	交通費
12 支払手数料	10,000	10,000	0	振込手数料・各種手数料
13 諸 費	10,000	10,000	0	
14 予備費	5,325,500	6,202,800	△ 877,300	*特別会計（基本金）に300万円繰入
計	10,085,500	10,122,800	△ 37,300	